

# 楊 強 (Yoh Kyoh)

中国国家観光局 大阪駐在事務所所長(首席代表)

## 中国をもっと知ってほしい

8年前に北京オリンピックの開催が決まったとき、中国国内はお祝ムード一色に染まりました。それは中国という国、北京という都市が、こうした大イベントを開催できる経済的・技術的・文化的力を備えていると世界の国々に認められた喜びに他なりません。そして来る2010年には、上海で万国博覧会が開催されます。観光局としては、これらのイベントをきっかけにして、世界の人々が中国に対する興味をさらに深め、より多くの観光客にお越しいただけるよう、さまざまな活動を続けているところです。

1949年に中華人民共和国が建国され、60年を迎えようとしています。そしてこの間、中国は大きな発展を遂げてきました。私たちはそうした事実に加え、世界のグローバル化が叫ばれるいま、中国という西側先進諸国とは異なる社会制度があってもいいということ、世界の人々に知っていただきたいと思っています。

## 日本への新たな認識

中国を訪れる日本人観光客は昨年1年間で397万人と1位の韓国に次いで多く、年々着実な伸びを見せています。しかし今年に限っては、ギョーザ事件やラサでの暴動、四川大地震の発生により、今年1月から5月の日本人観光客は前年比9%減という初のマイナスに転じてしまいました。しかし私たちは、この数字に悲観はしていません。オリンピックや万博といったプラス要因に加え、胡錦濤主席の訪日によって日本に関する報道が中国国内で多く報道されたことで中国人の日本に対する認識が高まりました。また震災においては、日本の救助隊の献身的な活動を目の当りにして、礼儀正しく優しい心、仕事への真摯な姿勢、効率の良い組織力やルールなど、日本から学ぶものは多くあるというムードが中国国内で広がっています。こうした認識こそは、双方向の観光施策を目指す私たちにとっても、非常に良い土台になってくれると信じています。

## 水と親しむ機会の多い大阪に

北京から大阪へ赴任して強く感じることは、地下鉄や電車など交通網の便利さや人々の温かさです。また、大阪は水の都といわれていますが、これについては少し残念な思いがあります。例えば大阪城近辺の大川では、お花見や天神祭の季節には人々の水辺で楽しむ姿がよく見られますが、普段の日はそうした機会が非常に少ないように感じるからです。

現在、日本に来る中国人観光客は、昨年1年間で138.5万人(JNTO・国際観光振興機構調べ)。経済的な理由や奈良・京都などへのアクセスの良さから、東京より大阪で宿泊する人が増えています。また、関西空港から中国の19の都市へ直行便が出ています。こうしたアクセスの良さを活用して、両国の観光交流を一層促進していきたいと思っています。



中国国家観光局 大阪駐在事務所(大阪市浪速区/平成20年6月25日)にて

### 楊 強 (Yoh Kyoh) 氏

- 1953年 江蘇省出身
- 90年 中国国家観光局入局
- 92年 同局 国際連絡司 外事管理处 副処長
- 96年 香港中国国際旅行社株式会社 社長補佐
- 2000年 アジア観光交流センター シニアアシスタントディレクター
- 01年 中国国家観光局 ホテル管理处 処長
- 03年 同局 人事労働教育司 副司長
- 07年 3月より現職

